



都内では珍しい『サツマイモの花』が開花！

～ 今年は約2週間早い開花！ 「写真撮影向き」な咲き方です！ ～

と き 8月14日(水)撮影

と ころ 土支田3-7-5

14日、関口 守朗（せきぐちもりお：75歳）さんの畑で、サツマイモの花が開花した。開花には、気温や養分、日照時間など、さまざまな条件を満たす必要があるため、熱帯や亜熱帯地域で咲くことはあっても、東京で咲くことは珍しいという。

関口さんの畑でサツマイモの花が咲くのは、平成15年に初めて発見して以来、今回で6回目。例年は8月下旬から9月上旬に咲くため、今年は2週間ほど早い開花を迎えているという。

珍しいうえに必ず咲くとは限らないため、開花のたびに近隣住民をはじめ区外からも見物人が訪れている。

サツマイモの花はヒルガオ科に属していて、アサガオに非常によく似た性質を持つため、午前中の8時までが見ごろだが、天候によっては昼ごろまで見られる。夕方には散ってしまう。



サツマイモの花



【サツマイモの花が開花した畑について】

約4,500㎡ある大きな畑のうち、約1,000㎡の畑では約2000株のサツマイモが栽培されており、その中でサツマイモの花が、顔をのぞかせていた。近隣農家と共同で埼玉産のベニアズマを購入し、生産しているが、花を咲かせたのは関口さんの畑だけという。

最初にサツマイモの花を発見したのは平成15年のこと。次に平成20年、21年、23年、24年と続き、今年で6回目の開花。13日に開花しているのを発見したそうだ。

関口さんは「今までで一番花が咲くのが早い。暑い気候のせいかもしれない。数年前に、同じ畑の同じスペースでサツマイモを植えたが花は咲かなかった。同じサツマイモでも隣の畑では咲いていない。どういった条件で咲くのかはわからないが、かわいい花が咲くのは嬉しいこと。今までは1輪ずつ畑に点在していたが、今年は3～4輪が群生しているポイントが多い。写真撮影に向いているよ。」と笑いながら、花にカメラを向けていた。

サツマイモの花は、開花のたびに近所でも話題となり、区内の近隣住民をはじめ、埼玉などの近隣の県からも珍しがって人が訪れている。サツマイモの収穫できる10月ごろまで花は見られるが「一番きれいに咲くのは今の時期」とのこと。なお、これらのサツマイモは市場には出荷せず、畑で直接販売するほか、近隣の幼稚園児が10月ごろに収穫する予定。

【サツマイモの花】

サツマイモはヒルガオ科に属し、その花はアサガオの花によく似ており、花びらは白く、中心部分は紫色。また、短日植物であるため、昼間の長さが短くなって11時間以下になると開花する。熱帯や亜熱帯ではよく開花するが、北緯30度以上の地域での開花は非常に珍しいといわれている。花言葉は、『乙女の純情』。

【問合せ】 区長室広聴広報課報道係 電話 03-5984-2693